

# 横浜南部就労支援センター

## 令和 5 年度 事業報告

## ●令和 5 年度 事業目標

重点目標として、多くの登録者と新規相談者の多様な相談に対応するため社会情勢や雇用情勢を把握して支援を行う、地域の就労支援に関するコーディネート機能について自らの理解を深め役割を継続的に地域に発信することを掲げ、次の方針をもとに事業を行った。

- 感染症予防対策をしながら、新規相談者向け説明会を定期的実施し、丁寧かつ臨機応変な一次相談に努める。
- 休職者向けの就職活動プログラムを定期的に行い、登録者が積極的に就職活動を行える機会を増やす。
- 就労者向けに IT を活用した勉強会や余暇活動のプログラムを提供し、職場巡回のみに拠らない定着支援を実施する。
- 地域の障害福祉サービス事業の情報収集をし、相談者への有益な情報提供に努める。
- 横浜市障害者就労支援センター連絡会や自立支援協議会等と協働し、関係機関との連携強化や地域の就労支援力向上につながる取り組みを行う。

## ●事業内容

### (1)相談・支援の実施

一時相談の機能として、電話やメールなどの初回相談にて相談者のニーズを確認し、必要に応じて他相談支援機関と連携をしながら支援を行った。令和 5 年度は、新規相談 199 件の内、説明会参加が 68 件、内 24 件が登録となっている。求職者支援として、面談、企業実習、センターで就職活動に関する勉強会を実施した。

定着新規相談は、障害福祉サービス就労系事業所、及び養護学校・特別支援学校からの定着支援引継ぎが 69%を占めている。生活面の支援が必要なケースは基幹相談支援センターや他関係機関と情報共有を行いながら支援を行った。

### 【実績】

#### ① 新規相談者数（件）

	求職相談	定着相談	その他
知的障害	25	34	0
精神障害	59	11	0
身体障害	9	0	0
なし・不明	47	9	5
小計	140	54	5
合計	199		

#### ② 新規登録者数（名）

求職登録者	定着登録者
29	37

#### ③ 新規就労者数

25 名

#### ④ 延べ相談支援件数(来所、電話、訪問、同行等)

5,786 件

#### ⑤ 年度末登録者数

677 名

## (2) 求職者に対する支援の実施

登録者の希望、適性把握やセンターとしての見立てを擦り合わせ作成した支援計画を元に支援を実施した。状況整理のための面談を中心に、ハローワークへの同行、採用面接や実習の調整及び同行、応募書類作成、入社手続きのサポートなどを行った。また、勉強会では就職に向けての実践的な内容に加えて、就労準備が必要な登録者に向けた障害福祉サービスの情報提供も実施した。

### 【実績】

#### ① 求職者勉強会

6月27日実施 講師：センター職員(テーマ：自己理解について)

8月22日実施 講師：ハローワーク横浜南 精神障害者雇用トータルサポーター

(テーマ：履歴書と職務経歴書の書き方、ハローワークの活用方法)

9月26日実施 講師：スーツ販売店店舗スタッフ(テーマ：スーツ着こなし講座)

1月23日実施 講師：センター職員(テーマ：面接に役立つビジネスマナー&模擬面接)

#### ② 協力企業における適性把握実施件数

27件

#### ③ 企業実習

14件

## (3) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響や予防の観点から、一堂に会しての対面イベントは見送ることとなったが、次年度からの再開に向けて職員間で検討を重ねた。勤続表彰式はご希望に応じてセンターで個別で行った。長年登録をしているが、センターとの関りが少ない方在职者に対して、調査票を送付して状況確認を行い、必要に応じて面談等の支援を行った。就労者とのつながり維持を目的に Youtube にて動画配信を行った。就労継続に必要な知識の提供として「ビジネスマナー言葉づかい」「ビジネスマナー 注意をされたときの対応について」の動画配信を行った。多くの登録者に視聴していただいた。

・第1回動画配信(7月)「ビジネスマナー 言葉づかい」

・第2回動画配信(2月)「ビジネスマナー 注意をされたときの対応について」

## (4) 関係機関との連携

対面・オンライン・ハイブリットなど様々な手段を講じて、これまでの活動を絶やさぬよう可能な限り実施、参加し、連携強化を図った。

### 【実績】

① 磯子区発達障害児者地域支援ネットワークへの参画、地域における児童系支援機関との情報共有において啓発活動を実施した。

② 磯子区自立支援協議会における専門部会の就労支援連絡会事務局を担当。継続的な情報共有に加え、インクルーシブ校の教諭を講師とした勉強会を実施し、連携を図った。

③ 地域連携の一環として、就労に向けた第一歩を踏み出すことを目的とした就労支援セミナーを3回開催した。

④ NPO 法人障害者雇用部会の主催する企業・教育・就労支援機関が集まる分科会に参加し、障害者雇用と就労支援の情報提供及び就労支援センターの機能と課題について継続的に発信した。

⑤ 横浜市内 9 センターとの連絡会議に年 6 回参加し、現状課題について情報共有するとともに今後の方向性を話し合った。

## (5)事業主支援の実施

企業との信頼や関係性維持に努め、雇用継続のための定着支援と新規雇用の啓発を行った。

雇い入れ相談においては、企業ごとのニーズに応じて対応を行った。初めて障害者雇用を検討している企業に訪問して雇用にあたっての情報提供や相談に対応している。

また、定期的な企業巡回を行い職場の環境調整や指導方法のアドバイス等を行った。体調不良等のため雇用継続が危ぶまれる方の支援では、医療機関の通院同行をする等、関係機関からの意見も踏まえて企業と調整を行った。また、加齢による体力や認知機能低下による相談も増加しており、作業内容や勤務状況を再考する支援などを行った。

## (6)職員参加研修

No.	研修名	日程	参加人数
1	苦情対応研修	6月5日	1
2	就労パスポート支援機関向けワークショップ	8月2日	1
3	ジョブコーチ養成研修	8月19日他全6日間	1
4	障害福祉に関する制度・サービス入門	9月4日	1
5	「障がい者就労支援力」について考える	9月5日	1
6	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジメント研修	10月3日	1
7	社会福祉士実習指導者講習会	11月5日,25日	1
8	精神障害のある方の地域生活を考える	12月4日	1
9	より良いサービス実現のための問題解決力向上研修	12月6日	1
10	ジョブコーチ養成研修	2月3日他全6日間	1
11	労働安全について(内部)	4月28日	6
12	1日の正しい食事のとり方を考える(内部)	5月30日	6
13	交流分析を学ぼう(内部)	6月22日	6
14	クレーム対応について(内部)	7月27日	6
15	発達障害のある学生や若者が就職する際の困りごとと、必要な支援(内部)	8月24日	6
16	個別支援計画について(内部)	9月21日	6
17	セルフケアマネジメントについて(内部)	10月26日	6
18	IPSについて(内部)	11月22日	6
19	認知機能の基礎理解(内部)	12月21日	6
20	就労準備性ピラミッドについて(内部)	1月25日	6
21	災害時の心のケアについて(内部)	2月22日	6
22	バイステック7原則(内部)	3月28日	6